

# 夏まつり



7月18日



町内で開催される今年最初の夏祭り「一本松夏祭り」では、歩行者天国となった一本松地区の会場に、各種団体による夜店が数多く並びました(写真①)。また、会場からほど近い出雲大社一本松教会には茅の束で作った大きな輪が設置され、この輪をくぐる「輪抜け」に多くの参詣者が訪れました(写真②)。



②

8月2日



「城辺夏まつり」は城辺商店街周辺を会場に行われました。城辺小学校トランペット鼓隊の演奏(写真③)で幕を開け、各種団体による「愛南音頭」の踊りパレード(写真④)が祭りを盛り上げました。

また、町商工会城辺支所前で「愛南ゴールド早搾り早飲み大会」などがあつたほか、浜口医院横特設ステージで「のど自慢歌謡ショー」などが行われました。



④

7月中旬から8月中旬にかけて、町内各地で夏祭りが開催されました。

8月9日には内海地域の須ノ川地区で「復活「須ノ川公園まつり」と銘打った夏祭りがあり、10年前まで同地区で開催されていた「うちみ夏祭り」を思い起こさせる賑わいを見せました。

また、5年前まで「西海海中公園まつり」が

8月9日

内海地域の須ノ川公園を主会場に開催された「復活」須ノ川公園まつりには、10年ぶりに同地区で開催される夏祭りを楽しもうと、大勢の家族連れなどが訪れました。

過去に地引網漁が行われていた平瀬地区の元越海岸で「大地引網まつり」(写真⑤)があったほか、ランタンで須ノ川公園内の池をライトアップする「須ノ川ランタンまつり」(写真⑥)、「ゲームまつり」(写真⑦、⑧)や「愛南の歌まつり」など、「まつり」尽くしの1日となりました。「花火まつり」(写真⑨)では500発の打ち上げ花火が上がり、来場者は、10年ぶりに花火で彩られた須ノ川の夜空を見上げていました。



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

# 愛南町



「ふなこし夏祭り」では、約700発の花火が打ち上げられ、大勢の見物客を楽しませました。

8月13日

「シーパークふなこし夏祭り」は船越漁港公園周辺で開催され、大勢の来場者が、船越地区では5年ぶりとなる夏祭りを満喫しました。

会場では、西海地域出身で町内の郵便局に勤めるアマチュア女性ミュージシャンのけだまよしおさんがミニコンサート(写真⑩)で歌声を披露したほか、「旧西海音頭発表会」(写真⑪)や「昔の西海上映会」が行われました。フィナーレの花火大会では、打ち上げ花火約700発が上がり、祭りを締めくくりました。



⑩



⑪

実施されていた西海地域の船越地区では、8月13日、「シーパークふなこし夏祭り」が初開催されました。  
毎年恒例の「二本松夏祭り」、「城辺夏祭り」とともに写真で紹介いたします。  
※御荘夏まつりは10月号に掲載予定です。